伊勢崎市立境南中学校だより　令和５年１０月１０日

南の風

NO. １２

生徒の全力の躍動　応援　美しく輝く！
境南中体育大会

残暑厳しい秋空のもと、9月27日（水）、境南中体育大会が盛大に行われました。

今大会は、個人競技やチーム競技などの生徒が活躍する機会を全学年全校、また保護者の皆様の多くの人から見守られ、応援し合える大切な機会とすることを目指し実施しました。当日、生徒の皆さん、一人一人が一生懸命に熱く競技に打ち込み、自分自身への挑戦、追求する姿は頼もしいものでした。また、最後まで頑張り続ける仲間を思いやり、温かく応援している姿も素晴らしく、感動させられました。一人一人が主役の皆さんの姿は、一人一人が輝き、チームで輝いていました。皆で力を結集し、協力することの力強さを示し、各学年、各クラス、どのクラスの団結力も大変素晴らしいものでした。

【フレー、フレー、力の結集！クラス対抗綱引き】

【速いテンポで展開！クラス対抗長縄時間跳び】

一生懸命に取り組む姿は、正に、『全力は美なり。』と思いました。何ごとにも一生懸命に取り組む皆さんの姿は、とても美しいものです。そこにも、『境南プライド』があふれていました。今回の体育大会スローガン「勝敗笑美戦」「勝っても　敗れても　笑って美しく戦おう」を、見事に達成できたと思います。保護者の皆様を始め、ボランティアの4名の大学生、関係者に感謝申し上げます。

なお、今回、PTAの教育振興会費から熱中症対策のためテント8張りを各学級に新規に設置することができました。また、「境南中想い出づくり実行委員会」から大型テント1張りの寄贈がありました。熱中症対策、さらに今後の雨天時対策として、各種テントの設置は、生徒の健康安全対策のために大変有効です。誠にありがとうございました。

本校生徒の良さを伸ばし、さらなる飛躍に向けて
～令和５年度全国学力・学習状況調査の結果から（その２）～

「生徒質問紙調査」から本校生徒（３年生）の傾向と今後の取組について

◆　以下の多くの項目において、本校生徒の回答が県及び全国平均を大きく上回りました。

○「学校に行くのは楽しいと思う」

○「友達関係に満足している」

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

○「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」

○「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」
○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」
○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」
○「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために図書館や図書室に毎週行く」
○「新聞を毎週１回以上は読んでいる」
○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」
○「自分の夢や目標を持っている」
○「人が困っているときは、進んで助けている」
○「外国の人と友達になったり、外国のことについて、もっと知ったりしてみたいと思う」
○「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」

◆　一方、以下の項目について、生徒の回答が県及び全国平均を下回りました。

□「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」と答えた生徒数が県及び全国平均を下回りました。
□「学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」と答えた生徒数が県及び全国平均を下回りました。
□「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」
□「家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）」
□「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」

【これまでの取組の振り返り】

○　多様性を大切にとらえ、生徒が安全・安心で楽しく登校できるように、職員が生徒に寄り添い、生徒の良いところや頑張り、努力に着目し、生徒一人一人の個性を伸ばすように努めています。
○　不安や心配ごとを抱える生徒には、組織で迅速な対応に努め、職員が保護者と共に育てる視点で連携を図るとともに、必要に応じて関係機関等と連携を図り支援に当たっています。
○　これまでコロナ禍においても、学校行事を実施するに当たり、健康安全対策を講じた上で、生徒一人一人が主体的に躍動でき、一層充実し実施できないかと、皆で検討し取り組んできました。生徒が多くの学校行事を通して、互いに協力し合い、集団でよりよいものを作り上げる楽しさや感動、達成感を味わえ、自信につながっていると考えます。

【今後の取組について】

◇　生徒一人一人の個性や努力を大切にし、伸ばすとともに、それらを活かした活躍の場面（学校生活、委員会、行事、部活動、等）を実現できるように多くの機会の設定に努め、自己肯定感・自己有用感を一層高めるとともに集団としてのかかわりの向上を図っていきます。
◇　生徒が自分の将来のことに向き合い考え、目標を持つことは、学校生活の様子も前向きになり、授業・学習のやる気につながり、意欲を持って学習に取り組む態度や学習の習慣化にもつなげられるよう、学習内容の充実と共に、家庭学習の時間の確保につながるよう支援していきます。保護者の皆様、このことにつきましても、ご理解とご協力をお願いします。
◇　ＩＣＴ機器を活用し、学習の質を高め、一層、生徒が主体的に自分に必要な学習を考えて、自ら取り組めるように支援していきます。
◇　各授業において「めあて」と「まとめ（振り返り）」を明らかにして、「なぜ？」「どうして？」「もっとやってみたい」を大切にした「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒の学ぶ意欲を高めるための課題提示やワークシートの工夫、交流活動・表現活動等を取り入れた授業を意図的に行い、楽しいととらえられる「わかる授業」を進めていきます。